

ケアニン = 介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってられるか、どこにやりがいがあるんだ、どこが楽しんだ…ってか？」

『思っていないんですけど』

「えっ思わないの？ スゲエな。俺なんか新人の頃は毎日思っていたけどな。少しは思うだろ？」

『…まあ、少しは』

「人間だから当然だよ。こっちも人間なら、向こうも人間。感情もあればプライドもあるんだ」

介護職員が30万人不足！

高齢化がピークを迎える2025年に(厚労省調べ)

“3K(きつい、汚い、危険)”のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも厳しい仕事です。しかしこれほど人と本音で向き合え、感動する仕事はないと長く介護に携わる人たちは胸を張ります。映画「ケアニン～あなたでよかった～」は、神奈川県藤沢市に実在する「おたがいさん(株式会社あおいけあ)」をはじめとする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、関連団体に取材をいただき、シナリオを一つ一つ積み上げていきました。この作品には介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりや、種々が描かれており、この中で語られているセリフの一つ一つが全て実際の現場からとった生きた言葉なのです。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を追いかけていくうちに自然と、人生に前向きになれる心温まる感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン～あなたでよかった～」です。

「…経験を積むんだよ。それが身になる。現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、圭も一人前のケアニンだ」

『けあにん…?』

「ケアする人間。介護福祉士って言うと堅くなるしいじゃん」

「人のために仕事をしたい」「じいちゃん ばあちゃんが好きたから」そんな理由で介護の仕事に志す若者を、私たちは「介護ってすてきだぞ」って迎えることができていんだろうか？ 大森圭が誇りをもって働ける現場をつくらう！

株式会社あおいけあ
代表取締役 加藤忠相



認知症で人生終わりになんて、僕がさせない——。

大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。高校卒業後、これとってやりたいことがなかった圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学。卒業後、圭が働くことになったのは、郊外にある小規模介護施設。高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、圭が初めてメインで担当することになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。なんとなく「で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だった…」



戸塚純貴 松本若菜 山崎 一 / 水野久美 藤原令子 菜葉菜 小市慢太郎 ほか

監督:鈴木浩介 主題歌:香川裕光「星降る夜に」

原案:エグゼクティブプロデューサー:山田秀幸 プロデューサー:吉見秀樹/金延宏明/長田安正/柳瀬太郎 共同プロデューサー:小川明日香 特別協力:加藤忠相(あおいけあ) 脚本:藤村磨英也 音楽:遠藤浩二 撮影:西村敏彦 照明:宮尾康史
美術/装飾:都留啓亮 録音:重松健太郎 編集:佐野由里子 技術プロデューサー:瀬戸正俊 監督補:綾部良弥 ラインプロデューサー:平山高志 介護指導:鈴木 真 スタイリスト:田中トモコ/御野正和 ヘアメイク:遠山直美
特別協賛:UAゼンセン日本介護クラフトユニオン/東北福祉大学/株式会社アズバートナース/株式会社エス・エム・エス/株式会社長谷工シニアホールディングス/株式会社デジタル・スタンダード 協力:全国社会福祉法人経営者協議会
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会/一般社団法人全国介護付きホーム協会/公益社団法人全国有料老人ホーム協会/公益社団法人全国老人福祉施設協議会/公益社団法人全国老人保健施設協会/公益社団法人日本介護福祉士会
公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会/一般社団法人日本在宅介護協会/NPO法人未来をつくるkaigoカフェ/一般社団法人「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会 推薦:厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別選定作品 後援:藤沢市
製作:「ケアニン」製作委員会(ワンダーラボトリー/ライブラリー/コンテンツサービス/ノブリティ/エムプラス) 配給:宣伝:ユナイテッドエンタテインメント
©2017「ケアニン」製作委員会 2017年/日本/カラー/ステレオ/105分

www.care-movie.com

[@care_movie](https://twitter.com/care_movie)

[caremovie](https://www.facebook.com/caremovie)